

「呉・警固屋のよさを発見！発信！」

■ 日 時 11月18日(木) 14:45~15:35 (第6校時)

■ 学年・学級 第7学年1組 (男子9名 女子5名 計14名)

■ 場 所 第7学年教室

■ 指導と評価の構想

(1) 単元について

教材観

本単元は、本質的な問い「地域とともに生きるとは」を基に構想している。地域の自然・文化・歴史・産業などを知り、地域に携わる人々の生活や思い、地域が抱えている課題について調べ、「地域のために自分たちができること」という視点から、自ら地域における自己の生き方とのかかわりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことをねらいとしている。

また、この学習を通して、相手に自分の意見を効果的に伝える方法を知ることによって自分に自信を持ち、さらには、地域のよさを知ることによって地域に対する愛着を深めることにもつながると考える。

そして、この過程を通して、本学園で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性】【協働性】を育成することを目指す。

生徒観

生徒は、これまでの小学校の学習を通して、警固屋の町探検や渦潮太鼓 防災学習などを学んでいる。地域についての特徴や情報がある程度知識としてもっており、ほとんどの生徒が地域に愛着をもち、住みやすい町であると思っているものの、町の自然・文化・産業を深く知りたい、よりよい町にするための課題について深く考えたいといった意識までには達していない。

また、事前の学習アンケートの、「授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます」「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています」の項目では肯定的評価がそれぞれ71%と、得た情報をまとめ、分析・創造し、表現することに課題があると考える。

教科等の見方・考え方

- 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えること
- 実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるということ

このような、見方・考え方を探究的な見方・考え方と呼び、この学習に取り組むことにより、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することにつながる と考える。

指導観

探究的な学習として、単元を貫く問い「呉・警固屋の伝統を、地域のために活用できないだろうか」を絶えず意識させ、「自分と地域のかかわり」や「自分の生き方」に係わって、生徒が自ら問いを見出すことや、新たな問いを見出すことができるよう、単元構成を工夫する。

まず、「自分たちが地域のためにできることを発信する」をゴールとし、生徒に明確に提示する。

そして、①自分たちの住んでいる地域が、何により成長・発展してきたのか、そして、今までの学びを振り返り、地域には色濃く伝統文化が残っていることに気付かせる。②地域の歴史や文化・産業の実態を直に知り、地域に携わる人々の思いに触れ、地域にかかわる課題が未来につながる価値や意味であることに気付かせる。③自分たちの考えを伝えるべき相手があることに気付かせ、未来に残したい地域の姿とは何かを考えさせる。①～③の学びの過程を通して、考える場面の設定を意図的に行う。

(1) 本時の考える場面

情報収集のときからゴールを明確にすることにより、多様な情報を分類整理し、目的に応じて取捨選択し活用する力を身に付け、調べたことを相手に効果的に伝える力を養うことができると考える。

(2) 思考の整理の工夫と対話

生徒の思考を整理するために、探究の過程においてワークシートを用い、一目で流れが分かるようにする。また、タブレット端末やワークシートで、シンキングツールを用い、生徒の思考場面を可視化することにより、生徒相互の情報の整理・分析を協働して行いやすくなる。〔(他者)との対話〕

(2) 単元目標

地域の自然・文化・歴史・産業について、また、地域に携わる人々の生活や思いなどについて知り、地域が抱えている課題について調べる活動を通して、仲間・地域の人とともに課題を設定したり、課題解決のために必要な情報を集め検討しながら、地域の一員として何かできることはないか積極的に考え、実行できるようにする。

(3) 評価について

| 評価規準 | | 評価方法 |
|-------------|--|--|
| 知識・技能 | ① 課題に対する調査活動、インタビュー、調べ学習などで学んだ事柄をつなげて、状況に応じて相手に分かりやすく伝えることができるような発表や提案ができるための知識・技能を有している。 | ワークシート タブレット端末 行動観察 発表、発表原稿 |
| 思考力・判断力・表現力 | ① 地域について収集した情報をもとに、学級で何を発表するか吟味し、時間内で相手意識を持ちながら説明や発表の方法を工夫している。 ② 地域の人のお話や学級での発表、グループ討議などの情報を分析・整理し、課題や課題解決のために必要な事柄などを見いだしている。 | ワークシート タブレット端末 行動観察 提案、提案原稿 他者評価 |
| 主体性 | ① 地域の特徴や伝統をまとめるために、収集した情報を吟味し、より、伝わりやすくなるように試行錯誤しながら取り組んでいる。 | ワークシート タブレット端末 行動観察 |
| 協働性 | ① 設定した課題の解決に向けて、自分と異なる意見や考えを柔軟に受け入れ、仲間と協力して計画の立案や発表、提案などの活動に取り組んでいる。 | タブレット端末 行動観察 他者評価 |

(4) 指導計画 (全 28 時間) 本時 第16時 (第2次)

<本質的な問い> 地域とともに生きるとは

| 次 | 時数 | 主な学習内容 | 《思考スキル》 (思考ツール) [対話] | 評価規準 (評価方法) | 教科等との 関連 |
|---|----|---|---|--|---|
| 一 | 5 | <p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の自然・文化・歴史・産業などに何があるか、小学校の学習を振り返る。 <p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の自然・文化・歴史・産業について自分たちで調べたものを分野ごとに分類する。 <p>整理分析・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 獲得している知識についてまとめたことを学級で説明し、どのように自然・文化・歴史・産業などが地域を支えてきたのかを考える。 <p>まとめ・振り返り・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のどこが住みやすく、どこに課題があるのかをとらえ、今から何を学ぶのかを学級で共有する。 | <p>地域の自然・文化・歴史・産業などを項目ごとに分類・整理する。</p> <p>《比較・分類》 (Xチャート) [自己]</p> | <p>知識・技能① (発表、発表原稿)</p> <p>思考力・判断力・表現力①</p> <p>主体性① (ワークシート) (タブレット端末)</p> | <p>道徳 奈良筆に生きる</p> <p>国語 プレゼンテーション</p> |

【単元を貫く問い】 呉・警固屋の伝統をつなげるために、私たちに何ができるだろうか。

【単元を貫く問い】 呉・警固屋の伝統をつなげるために、私たちに何ができるだろうか。

| | | | | | |
|---|----|--|---|---|--|
| 二 | 13 | <p>新たな課題の設定</p> <p>○ 住みやすい地域となるために、地域とは自分たちにとってどのような存在であるのか知り、改めて何が課題なのか考え、分類する。</p> <p>情報収集</p> <p>○ 自分たちが分類・設定した地域について現在の状況を調査し、現地に関わっている人の思いを知る。</p> <p>整理分析・表現</p> <p>○ 調査した内容を整理・分析し、課題ごとに報告する。そして、地域の課題が自分たちにとってどう関わっているのか考える。</p> <p>【本時】</p> <p>まとめ・創造</p> <p>○ 何がどのように地域を支えてきたのかを考え、今から自分たちが何をしなければならないかを交流する。</p> | <p>地域のさまざまな特徴を、色々な人やもの立場から考える。</p> <p>《多面的・多角的》 (ポスターセッション) [自己・他者]</p> | <p>知識・技能① 〈ワークシート〉 〈授業観察〉</p> <p>思考力・判断力・表現力② 〈ワークシート〉 〈タブレット端末〉 〈授業観察〉</p> <p>協働性① 〈ワークシート〉 〈タブレット端末〉 〈授業観察〉</p> | <p>国語 インタビュー</p> <p>学校行事 文化祭</p> <p>国語 ポスターセッション</p> |
| 三 | 10 | <p>新たな課題の設定</p> <p>○ 地域の未来のために、自分たちはどのような活動ができるのか考える。</p> <p>情報収集</p> <p>○ 地域の課題を整理し、課題ごとに、何か自分たちができることはないか、発信する方法を調べる。</p> <p>整理分析・表現</p> <p>○ 地域を支えてきた人の思いを未来につなげるために、自分たちに何ができるかを企画し、地域の人に提言する。</p> <p>まとめ・実行・振り返り</p> <p>○ 呉・警固屋の伝統を、地域のために活用することを自分のこととして捉え、できることを実行に移す。</p> | <p>自分たちが企画したものを、分かりやすく相手に説明する。</p> <p>《具体化》 (提言) [他者]</p> | <p>知識・技能① 〈ワークシート〉 〈授業観察〉</p> <p>思考力・判断力・表現力② 〈ワークシート〉 〈授業観察〉</p> <p>思考力・判断力・表現力① 協働性① 〈提案, 提案原稿〉</p> <p>主体性① 〈ワークシート〉 〈授業観察〉</p> | <p>国語 プレゼンテーション</p> |

■ 本時の展開

○ 本時の目標

地域調べについての他のグループの発表を分析・整理し、課題や課題解決のために必要な事柄を見つけることができる。(思考力・判断力・表現力)

○ 学習の展開 (第16時/全28時間)

| | 学習活動 《思考スキル》(思考ツール) [対話] | ◇ 指導上の留意点 ○ 予想される生徒の反応 ◆ Cと判断される生徒に対する手だて | 具体的評価規準 (評価方法) |
|--|--|--|---|
| つかむ | ○ 前時までに調査した内容を整理・分析したことを確認する。 ○ 本時のめあてを確認する。 | ◇ 地域には、それぞれの分野ごとに課題があることを振り返る。 ○ 自分たちは、何にどのように関わっているのだろうか。 ◇ 「自分たちにもできることがあるのではないかと、課題意識をもたせる。 | |
| 自分たちが考えた企画の報告をもとに、地域が活性化するためにはどうすればよいか考える。 | | | |
| 考える・深める | ○ 分野ごとに報告する。 4分野5グループ ポスターセッション | ◇ 分野ごとのポスターを使った報告を聞き、ワークシートに疑問点などを整理させる。 ○ 詳しく調べられていて、よく分かった。 ○ 企画のまとめ方がよいので、やりたいことがよく分かった。 ○ 地域には、自分たちの知らない意外な課題がある。 | 他のグループの発表を分析・整理し、課題や課題解決のために必要な事柄などを見いだしている。 思考力・判断力・表現力 (ワークシート) タブレット端末 (行動観察) |
| | ○ 分野ごとに質疑・応答を行う。 【考える場面】 ○ 「地域の課題が、自分たちにどう関わるのか」の問いに対して、グループから出た意見をシンキングツールで整理する。 《多面的・多角的》 (シンキングツール) [自己・他者との対話] | ◇ 分野ごとのポスターを使った報告を聞き、ワークシートに疑問点などを整理させる。 ◇ 地域の課題についてシンキングツールで整理し、人やものの状況を分析させる。 ○ 分野ごと比較すると、課題ごとに違いがよく分かった。 ○ これらの課題について、他の見方はできないか。 ○ 他の人の意見から、自分たちでは分からない面を知ることができる。 ◆ どこを比べたらよいか分からない場合は、シンキングツールの比較する場所を示す。 | |
| | ○ 整理したことを、全体で共有する。 | ◇ 地域の課題について、シンキングツールで整理し、人やものの状況を分析する。 | |
| まとめる | ○ 本時の学習をまとめる。 | | |
| | それぞれの分野でそれぞれの課題があり、関わる人たちの思いがある。自分たちは、その思いを受け継がないといけない。 | | |
| | ○ 本時の振り返りをする。 ○ 次時の見通しを持つ。 | ◇ 「振り返りの視点」を意識させる。 ○ 自分にとって地域とはどんな存在なのか。 ◇ 何がどのように地域を支えてきたのかを考え、今から自分たちが何をしなければならないかを交流する場面に進む。 | |

■成果と課題

(1) 成果

本単元では、学んだり調べたりした事柄をつなげて、状況に応じて相手に分かりやすく伝える場（説明・報告・提言）を設け、発表の持ち時間や文字数を設定し、その条件の中で、全ての生徒がスライド及び原稿の推敲を重ねる取組を行ってきた。学習の中で生徒たちは、グループ発表や個人発表ともに、状況に応じて相手に分かりやすく伝えることができるように考えた方法で発表や提案を行い、時間内に発表をやり切ることができた。このことから、「知識・技能」の習得については効果があったと考えられる。

また、生徒たちは、調べ学習や調査活動、インタビューで学んだことを整理・分析し、地域の課題を解決するための企画を立案した。それぞれの企画について、クラス内で「対象者」「効果」の視点で討議を行い、改善を加えることができた。

小学校2年生に対して、企画の内容を伝える時には、クイズ形式にするなど、相手に分かりやすいように伝え方を工夫することができた。自分たちが収集した情報をもとに、どのような発表をするか吟味し、相手意識を持ちながら説明や発表の方法を工夫している姿が見られた。そして、地域の人のお話や学級での発表などから課題や課題解決のために必要な事柄などを見いだすこともできた。これらのことから、「思考力・判断力・表現力」の育成についても効果があったと考えられる。

そして、企画をまとめる際には、学んできた事柄から必要な情報を吟味したり、何度も原稿を推敲したりして、より伝わりやすい企画になるよう粘り強く試行錯誤する姿が見られた。「どのような企画を」「誰を対象に」「どのような効果があるか」という視点で、グループで何度も話し合ったり、クラス討議で出た意見も柔軟に取り入れたりしながら、仲間と協力してまとめていた。

表1は、警固屋学園で実施している「学習に関する意識調査」結果である。「主体性」「協働性」に関わる質問項目の肯定的評価は、6月に実施したときに比べ、設問13では11.9ポイント、設問15では、19ポイントの上昇がみられ、生徒の意識が向上していることが分かる。これらのことから、「主体性・協働性」の涵養についても、効果があったと考えられる。

表1 「学習に関する意識調査」結果より

| | 質問項目 | 6月 | 12月 |
|----|--|-------|-------|
| 13 | 授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしています。 【協働性】 | 71.4% | 83.3% |
| 15 | 『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。 【主体性】 | 64.3% | 83.3% |

(2) 課題

生徒たちは、学習の結果を様々な方法で発表や提案を行ってきた。よりよい方法を考え、相手意識を持って取り組む姿を見ることができた。生徒は、育成を目指す資質・能力が向上したと考えられるが、個々の習得レベルにはまだまだ向上の余地がある。また、生徒個々の能力にも大きな差が見られる。限られた時間内で効率的に資質・能力を向上することができるような活動を仕組んでいく必要があると考えられる。

表2の設問8は、思考力・判断力・表現力に関わるものである。意識調査では6月に比べて38.1ポイントの減少がみられ、生徒の意識は下がっている。傾向として、6月には肯定的評価が高かった生徒が12月では否定的評価をしており、6月に肯定的評価が低かった生徒はあまり変動が見られなかった。

総合的な学習の時間での教員の見取りでは、授業の様子やワークシートの記述などから成果が見られているが、意識調査の結果が低いことから、日頃の授業の発表時においても、生徒が意識をしていないことが考えられる。教職員の意識の共有を図り、各教科等の授業も含め教科横断的に取組を進めていく必要がある。

表2 「学習に関する意識調査」結果より

| | 質問項目 | 6月 | 12月 |
|---|--|-------|-------|
| 8 | 授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。 【思考力・判断力・表現力】 | 71.4% | 33.3% |

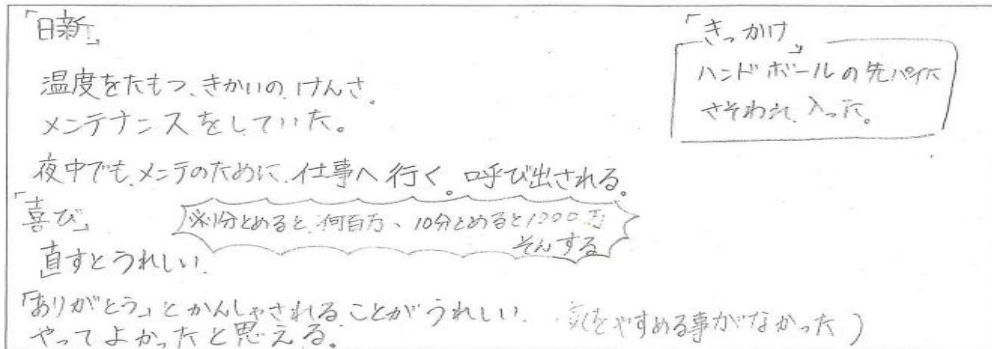
(3) 生徒の様子より

① 『日鉄新日鉄』に47年間勤められた、中村さんにお話を聞く会

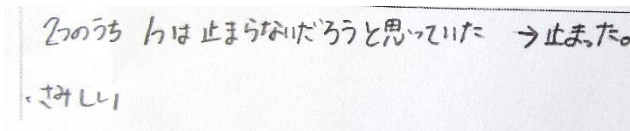
町の伝統産業に深く携わった方の思いを知ることで、伝統をより深く知りたい、よりよい町にするための課題について深く考えたいといった意識を高めさせることができた。

○ 生徒のWSより

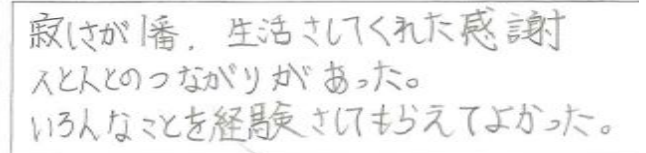
仕事の内容は？仕事の中で苦労したこと・喜び・やりがいなど。



日新の灯が消える…ことについてどう感じましたか？



最後の日9月29日はどんな思いで迎えられましたか？

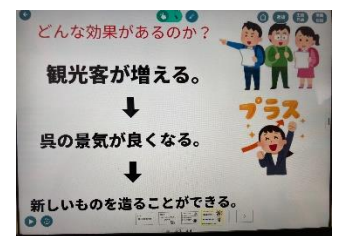
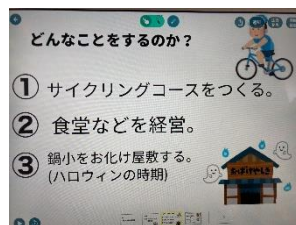
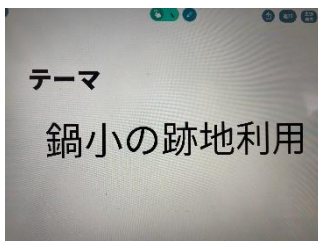


○ 生徒の振り返りより

インターネットや本で調べても分からないことを、実際にその仕事に関わった人に聞くことで、思っていることや感じていること、強調したいことが分かるので、より深い調べ学習になった。

② 地域の伝統をつなげるための企画、中間報告会。

○ 生徒の発表用スライドより



調べたことを整理・分析し、地域の課題解決のための方法を企画している。「対象者」をはっきりさせ、その企画がどのような「効果」があるかを訴えている。発表に対する質疑応答も行った。地域の課題を解決することが自分たちにとってどのように関わるか、発展的に考えることができています。

③ 自分たちが考えた企画を実現させる見通しを持たせるために、次のことを具体的に考えた。

○生徒のWSより

① 誰に見てもらいたい？聞いてもらいたい？

グループでは？ 旅行会社 → 観光客、有権者

② 見た人・聞いた人に何と言ってほしい？

グループでは？ before after
楽しそう、行ってみたい → また来てみたい、住みたい

③ それを聞いてどんな気持ちなるかな？

グループでは？
うれしい、やりがいを感じる →